

2025 年度 開発エキスパート研修講座

主催 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団
後援 日本製薬団体連合会 日本製薬工業協会 公益社団法人 東京医薬品工業協会
関西医薬品協会 米国研究製薬工業協会(PhRMA) 一般社団法人 欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan)
日本ジェネリック製薬協会 日本 OTC 医薬品協会 一般社団法人 ARO 協議会
一般社団法人 日本 CRO 協会 日本 CSO 協会 公益財団法人 MR 認定センター

日程

2025 年 5 月 13 日(火)~15 日(木)、5 月 27 日(火)~29 日(木)

本研修は Zoom を利用した **webinar** です

研修会趣旨

ICH の進展、グローバル開発/国際共同治験の普及により、わが国の治験環境は大きく変化しています。特に、GCP renovation(E8 の近代化とそれに続く E6 の刷新)の影響は大きく、治験に関与する人たちには GCP の原則を理解した上で治験の特徴に応じた柔軟な対応が求められることとなります。また、創薬に係るシーズ開発や治験の効率化を図るためのリアルワールドデータ(RWD)や人工知能(AI)の活用も進んでおり、創薬のパラダイムシフトの時代となっています。さらに、リモートアクセスモニタリングや医療機関への来院に依存しない臨床試験(DCT)の導入等、新たな治験システムの構築も課題となっています。一方、製薬企業等においては、医薬品開発業務の要となる臨床開発・治験業務に係わる人材の育成に関して企業毎に対応しており、現状は GCP 研修に特化あるいは SOP や治験薬に限定した教育研修が中心で、初期の開発段階から承認取得後に繋がる業務等、医薬品開発全般を網羅した研修プログラムを組み立てることは容易でない状況にあります。

(一財)医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団では、開発業務担当者を対象とした「2025 年度 開発エキスパート研修講座」を下記の要領で開催いたします。

本講座は、医薬品開発概論、医薬品開発に必要な知識(基礎的知識、環境変化、新たな動向等)、医薬品開発における信頼性確保、関係機関・部門との連携といった大枠の中で、より全体を俯瞰・理解できるように体系的な講義となることを意図した構成となっています。臨床開発部門に新規配属された方への導入教育としてご活用いただくとともに、すでに医薬品開発に携わっている各業務担当者、モニター(CRA)、監査担当部門及び開発研修担当部門の方にとっても、知識、技能の再整理の観点から大いに役立つ研修と考えています。

関係各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

なお受講者に限り、期間限定(2 週間程度)でオンデマンド配信をいたします。

また受講者全員に「修了証」を発行いたします。

対象者

医薬品開発業務担当者、モニター(CRA)及び監査担当者並びにこれら臨床開発業務にこれから従事される方及び
従事希望の方

すでに医薬品開発に関連する業務に携わっている方で、知識、技能について再整理したいとお考えの方

講演内容

① 5月13日(火) : 医薬品開発概論、関係法規

10:00~10:05	開会の挨拶	医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団
10:05~10:15	オリエンテーション	東宮 秀夫(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団)
10:15~11:20	第1講: 医薬品開発に係る薬事規制の動向と留意点	海老原 恵子(アマカス・セラピューティクス株式会社薬事本部)
11:20~11:30	休憩	
11:30~12:40	第2講: 医薬品開発概論	平松 信祥(広島大学病院広島臨床研究開発支援センター)
12:40~13:40	休憩	
13:40~14:40	第3講: CMC と GMP - 医薬品の規格及び試験方法、安定性試験を中心に -	宮下 尚人(第一三共株式会社分析評価研究所)
14:40~14:50	休憩	
14:50~15:50	第4講: 医薬品の開発に必要な非臨床試験の実際と留意点	仲田 康人(EFPIA Japan 技術委員会非臨床部会)
15:50~16:00	休憩	
16:00~17:00	第5講: 薬害再発防止にかかる期待と課題	花井 十伍(ネットワーク医療と人権)

② 5月14日(水) : 被験者保護、ICH、GCP

10:00~11:00	第6講: 被験者保護の基本的考え方	栗原 千絵子(神奈川歯科大学)
11:00~11:05	休憩	
11:05~11:50	第7講: ICH 概論	加藤 真理子(日本製薬工業協会国際規制調整部)
11:50~12:50	休憩	
12:50~13:50	第8講: GCP 概論	作広 卓哉(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団)
13:50~13:55	休憩	
13:55~14:40	第9講: 補償と賠償	近藤 純一(アンダーソン・毛利・友常法律事務所)
14:40~14:50	休憩	
14:50~15:50	第10講: 被験者の安全性とデータの信頼性確保 - CRC の立場から -	安達 聖子(国立がん研究センター東病院臨床研究コーディネーター室)
15:50~16:00	休憩	
16:00~17:00	第11講: 治験審査委員会(IRB)の役割と責務 - 委員の視点から -	松本 直樹(横浜セラトピア、聖マリアンナ医科大学薬理学)

③ 5月15日(木) : 品質マネジメント

10:00~11:00	第12講: 品質管理と品質保証 - 企業がバナンスと品質の基礎 -	堀江 正之(日本大学大学院商学研究科)
11:00~11:10	休憩	
11:10~12:10	第13講: 品質マネジメントシステムの実装	井上 宏高(グラクソ・スミスクライン株式会社リーディングチェンジオフィス)
12:10~13:10	休憩	
13:10~14:10	第14講: モニターの責務と役割 - モニタリング業務の実際 -	藤岡 慶壮(帝國製薬株式会社臨床開発部)
14:10~14:20	休憩	
14:20~15:20	第15講: 臨床データの信頼性確保 - 電子化とDM業務の実際 -	内海 啓介(東京大学医学部附属病院臨床研究推進センター)
15:20~15:30	休憩	
15:30~16:30	第16講: GCP リノベーション後の品質マネジメント	小宮山 靖(日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会)

④ 5月27日(火) : 関係者・関係組織との連携、コンプライアンス	
10:00~11:00	第17講:医薬品開発における Project Management 岩崎 幸司(大阪大学医学部附属病院臨床研究センター)
11:00~11:10	休憩
11:10~12:00	第18講:治験段階から市販後までの一貫した安全管理 渡部 ゆき子(中外製薬株式会社医薬安全性本部セイフティサイエンス部)
12:00~13:00	休憩
13:00~13:50	第19講:治験実施のアウトソーシング(CRO 及び SMO)の実際と留意点 山根 幸一郎(第一三共株式会社研究開発リソースマネジメント部)
13:50~13:55	休憩
13:55~14:55	第20講:Decentralized Clinical Trial への期待と課題 山田 博之(ノバルティスファーマ株式会社開発本部スタディ・サイトオペレーションズ)
14:55~15:05	休憩
15:05~16:05	第21講:Patient & Public Involvement - 医薬品開発への患者・市民参画 - 鈴木 和幸(ノバルティスファーマ株式会社開発本部スタディ・サイトオペレーションズ)
16:05~16:10	休憩
16:10~17:00	第22講:コンプライアンスをめぐる環境と企業倫理の強化 平田 千佳(日本製薬工業協会コード・コンプライアンス推進委員会)
⑤ 5月28日(水) : 知っておきたい基礎知識	
10:00~11:00	第23講:医療経済評価 福田 敬(国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センター)
11:00~11:10	休憩
11:10~12:00	第24講:薬価制度について 畠中 健一(日本製薬団体連合会保険薬価研究委員会)
12:00~13:00	休憩
13:00~14:00	第25講:知的財産法に関する基礎知識 遠坂 侑晃(エーザイ株式会社知的財産部)
14:00~14:10	休憩
14:10~15:25	第26講:初期臨床試験の安全性 - 事件から学ぶ - 熊谷 雄治(北里大学)
15:25~15:35	休憩
15:35~16:50	第27講:生物統計の考え方 山本 英晴(日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会)
⑥ 5月29日(木) : 医薬品開発の最近の動向	
10:00~11:00	第28講:臨床試験の新しいデザイン 柴田 大朗(国立がん研究センター研究支援センター生物統計部)
11:00~11:05	休憩
11:05~12:05	第29講:リアルワールドデータの活用 山本 英晴(日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会)
12:05~13:05	休憩
13:05~14:05	第30講:治験エコシステム - 背景と業界の期待 - 生田 博之(ノバルティスファーマ株式会社開発本部スタディ・サイトオペレーションズ)
14:05~14:10	休憩
14:10~15:00	第31講:PMDA における信頼性保証業務 山口 光峰(独立行政法人医薬品医療機器総合機構信頼性保証第一部)
15:00~15:10	休憩
15:10~16:00	第32講:日本人データの取り扱いについて 宇津 忍(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団)
16:00~16:10	休憩
16:10~17:00	第33講:意見交換・質疑応答 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団開発関係アドバイザーグループ委員

* 演題、講師、時間等一部変更する場合がありますので、予めご了承ください。

(敬称略)

申込み方法 受講希望の方は**注意事項**を確認の上、財団ホームページより申込み手続きを行ってください

- ① ホームページ(<https://www.pmrj.jp>)研修会内「開催一覧」の研修会毎にある **申込** ボタンより、画面の案内に従って必要事項をご入力ください。
- ② 申込み後、受付番号及び入金方法を受講受付メールにてお知らせいたしますので、受講料をお振込みください。
- ③ 受講料振込みを確認後、入金確認メールをお送りいたします。
- ④ 開催の1～3日前にwebinarに関するメールをお送りいたします。研修会当日にはメールに記載のURLより、webinarに入室してください。

受講料(1名につき;消費税込)

法人賛助会員(1口につき4名までが法人賛助会員価格)	83,000 円
行政/アカデミア/医療機関/学生	83,000 円
個人賛助会員	124,500 円
非会員	124,500 円

注意事項

申込みについて

- ・申込み期限は、研修会開催日(複数日開催の場合は初日)の **4 営業日前**です。
- ・受講されるご本人のメールアドレスでお申込みください。
- ・個人賛助会員として申込みの場合、ご本人の受講に限ります。
- ・申込み後に受講受付メールが届かない場合はご連絡ください。
- ・入金前のキャンセルは開催 4 営業日前までにご連絡ください。それ以降のキャンセルはできません。
- ・入金後のキャンセル、返金及び他研修会への振替はできません。

受講料振込みについて

- ・開催前日までにお振込みください。
- ・銀行振込の「ご依頼人欄」又は郵便振替の「通信欄」には受付番号・受講者氏名をご記入ください。
- ・以下に該当する方は、開催 4 営業日前までに①～⑥についてご連絡ください。
 - ・振込の際に受付番号・受講者氏名を記入出来ない方。
 - ・振込が開催 4 営業日前より遅くなる方。
- ①受付番号、②受講者氏名、③振込(予定)日、④振込先(みずほ銀行/ゆうちょ銀行)、⑤振込名義、⑥振込金額
- ・受講受付メールとは別に、クレジットカード決済手続きのご案内メールを送ります。
クレジットカード決済ご希望の方は、記載の URL にアクセスし、お手続きください。
- ・入金確認メールをもってインボイスに代えさせていただきます。入金確認メールは研修会開催後になる場合があります。

研修会当日・受講について

- ・資料はPDFファイルとしての配布になります。印刷等をご自身でご対応ください。研修会前日までwebinar入室用URLとともにご連絡いたします。
- ・複数日程開催の場合、日ごとに受講者を変更することは認められません。
- ・**録画・録音・撮影、資料の二次利用及び受講者以外の視聴は固くお断りいたします。**研修会内容の盗用が発覚次第、著作権・肖像権侵害として対処させていただくことがあります。

問合せ先



一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 研修担当

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 / Tel 03-3400-5644